

見附市指定管理者管理運営状況評価結果

令和8年7月8日に管理業務の評価を行った結果は、次のとおりでした。

施設名	見附市総合体育施設・見附運動公園		
指定管理者	見附市スポーツ協会・ミズノグループ	所管課	まちづくり課
評価対象年度	令和7年度		
【所管課の総合評価】			
合計得点	83.2	評価ランク	A
所管課の講評			
評価を行った大項目5項目のうち、4項目（Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ）については、同団体の強みを生かした創意工夫のある取組が目立ち、成果指標においても優れた実績を上げていることから、高く評価した。 また、施設の老朽化が進む中、優先順位を付けながら計画的に修繕を進め、市民サービスの低下を招かないよう努めている点についても評価できる。 一方で、Ⅲで指摘したとおり、グラウンドの芝の状態悪化への対応については、収益面への影響などを考慮すると判断が難しい側面はあるものの、利用制限の実施など、より踏み込んだ対応や工夫が求められたと考える。そのため、Ⅲについては標準的な評価とした。			
※評価の大項目について			
Ⅰ. 施設の設置目的の達成状況・取組			
Ⅱ. 運営及びサービスの質の向上			
Ⅲ. 安全・安心な施設管理についての取組み			
Ⅳ. 市民団体・企業・ボランティア等との協働や連携			
Ⅴ. 指定管理料の執行状況・収支決算			
【評価委員会の総合評価】			
合計得点	80.5	評価ランク	A
評価委員会の講評			
「ウエルネス」の概念を推進している見附市において、総合体育館は市民にとって重要な公共施設といえる。市民が気軽にスポーツと触れ合い、心身ともに健康の増進を図るという重要な役割を担っている。指定管理者は当該施設の設置目的を理解し、安全・安心を最優先にして施設運営に当たっている。幅広い年齢層の多くの市民が施設を利用できるように、年間38もの自主事業を企画・運営し、その他スポーツ協会や大会等の協力事業にも携わっている。そして、様々な関係団体、ボランティアグループとも協働、連携して、利用者やイベント参加者の確保と内容の充実に努めている。その成果として、年間利用者数は目標値である18万人を超えており、利用者からの満足度も十分に高いものとなっている。また、施設や設備の老朽化が指摘されるなか、努力と工夫を重ねて経費削減にも取り組んでおり、そのかいあって、収入が目標額の+1,111千円、支出が計画額の-1,075千円であり、収支決算は+2,186千円となっている。これらのことから、指定管理者による施設運営は適正に行われているものと評される。市民の運動に対するニーズは、今後さらに高く、多様化していくものと思われる。引き続き、利用者の安全・安心を第一に考え、市民のニーズに真摯に耳を傾けて、多くの市民がスポーツと触れ合い、スポーツを楽しむ施設環境を提供していったらきたい。			

【総合評価】

- A：総合評価の結果、特に優れていると認められる。（合計得点が80点以上）
- B：総合評価の結果、優れていると認められる。（合計得点が70点以上80点未満）
- C：総合評価の結果、概ね適正であると認められる。（合計得点が60点以上70点未満）
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる。（合計得点が30点以上60点未満）
- E：総合評価の結果、かなり努力が必要であると認められる。（合計得点が30点未満）